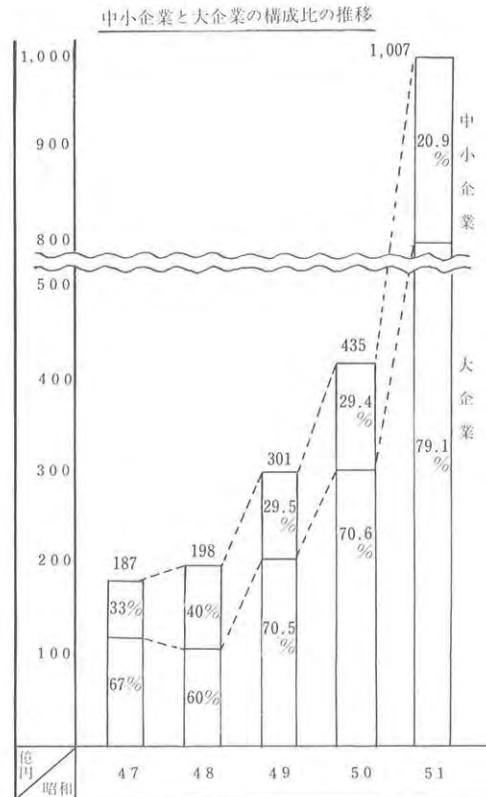
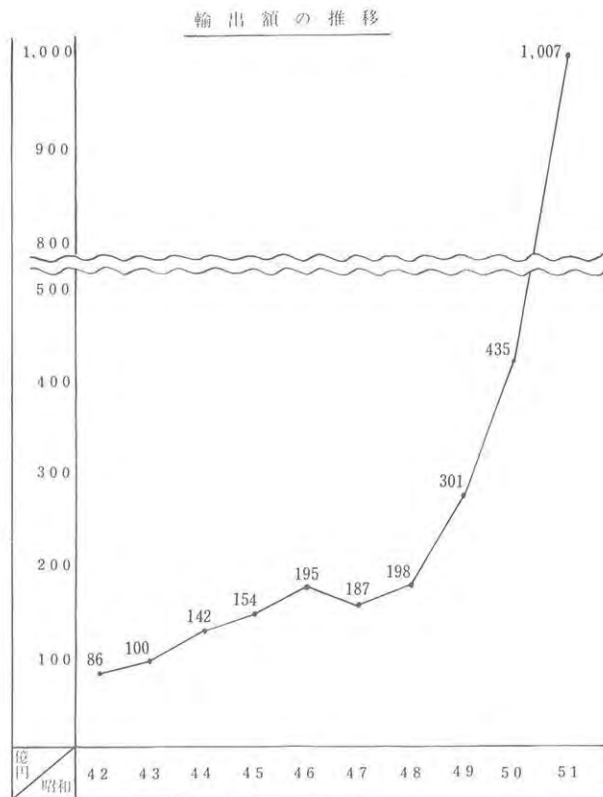
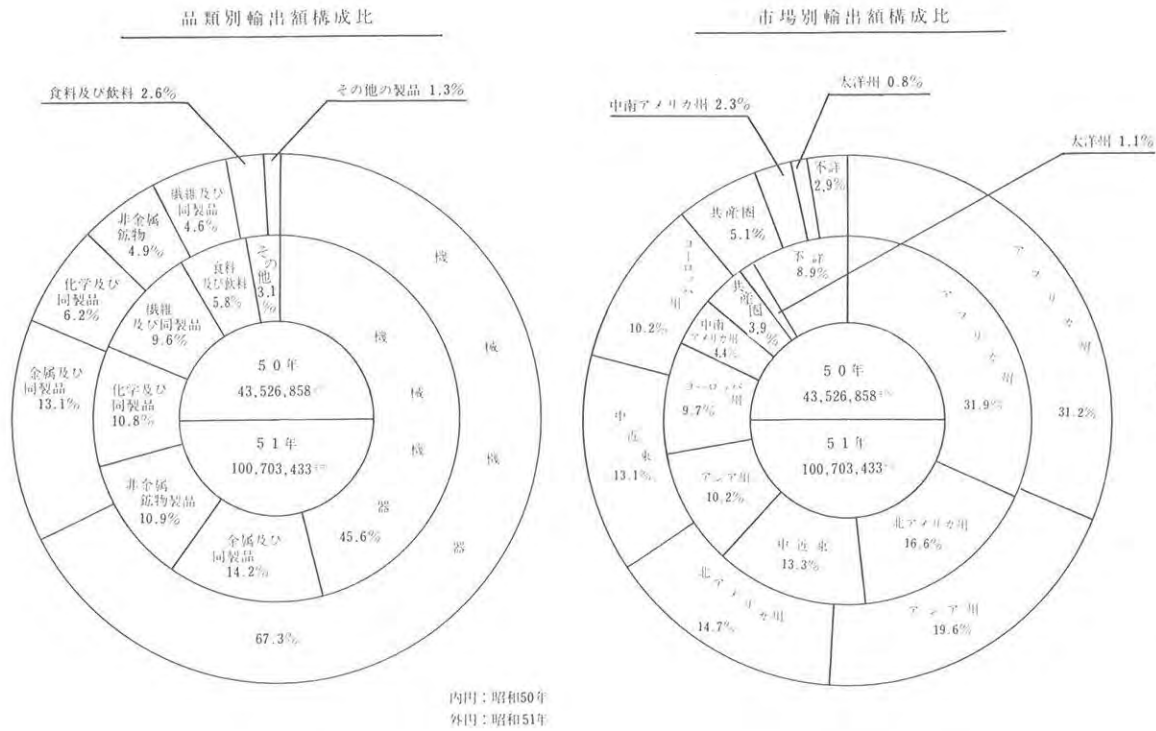


眼でみる県政

(熊本県の貿易)



4.22—石原環境庁長官は水俣病の実態は握るため現地を訪れ、24日までの3日間、申請者各派代表と話し合う一方、患者宅を訪問した。



5.7—西南の役田原坂百年祭が現地で行われた。式典は約千人が参加。記念碑の除幕や地元作家による激戦回顧、陸上自衛隊100人による模擬戦などが行われた。



5.8—第14回県身体障害者体育大会が水前寺競技場で開かれ、車イス走や走り幅とびなど27種目に熱戦がくり広げられた。22郡市や各施設から512人が出場した。



5.20—今年度の県防災会議、県水防協議会、県石油コンビナート等防災本部会議の合同会が県庁地下会議室で250人が集まって開かれ、地域防災計画の修正など行った。



3.30—菊池郡大津町の平川台地に進出した本田技研工場の完工式が行われた。熊本製作所は現在1000人の従業員を抱える男子雇用型の工場で、生産される二輪車の90%以上が輸出されている。



4.1—人吉市と宮崎県えびの市を結ぶ国道221号の改良工事のうち熊本県側の工事(19.7km)が完了した。161億を投じたループ橋の完成により、この区間の所要時間は1時間40分から50分に短縮された。総事業費183億円。



4.11—春うららのこの日、県下の小学校で入学式が行われた。今年は約2万5千4百人の「新1年生」が誕生。着飾った母親に付き添われ、チョッピリすました姿が、この朝あちこちに見受けられた。



4.19—県は青少年の環境浄化について初の関係業界代表者との懇談会を開いた。これは少年保護育成条例が5/1日改正施行されるに先立ち、関係業者の自粛と協力を促すために開かれたもの。八業者30人が出席した。

県政トピックス ★ 県政トピックス ★ 県政トピックス